

ちりめん本 "The Goblin Spider" (化け蜘蛛) by Lafcadio Hearn., 1899
神奈川大学図書館所蔵

目次

■特集	
図書館お化け話	・・・ 2頁
■2013年 横浜図書館展示 「蔵書票の魅力」	・・・ 4頁
■2013年度 図書館ガイダンス報告	・・・ 5頁
■《視聴覚資料室から》 楽しくわかりやすく勉強したい!	・・・ 6頁
■《図書館の所蔵資料紹介》 日本の美-ちりめん本コレクション	・・・ 7頁
■図書館からのお知らせ 今号の表紙 編集後記	・・・ 8頁

本の歴史を変えた人々④

イシドルス (Isidorus 560年頃～636年)

スペイン、セビーリヤの司教。当時の諸学問についての百科全書的知識を網羅した『語泉』(Etymologiae)を記す。『語泉』はさまざまな知識の宝庫として中世の図書館では標準的参考書となり、その記述は多くの著作に引用された。印刷術発明以後も版を重ね、1470年から1529年の間に十種以上も印刷された。

本学図書館は1483年にヴェネツィアで出版された『語泉』のインキュナブラ(最初期の活字印刷本)を所蔵している。

図書館のお化け話、といっても、図書館に幽霊が出るわけではありません。図書館には化け物、モンスター、幽霊、妖怪などをテーマにした資料がたくさんあります。

怪談話にピッタリのこの季節、図書館で背筋を冷やしてみませんか。



KWAIDAN - 怪談 / ラフカディオ=ハーン (1904年)

著者ラフカディオ=ハーンは1890年に来日、松江中学の英語教師になり日本に帰化し「小泉八雲」を名乗った。「耳なし芳一の話」「むじな」「ろくろ首」などの日本に伝わる古い物語や民話を基にした怪談話は怖いだけでなく、ハーンの筆によって美しく情緒のある物語になっている。

請求記号：A914-6 (横浜：地下書庫)

『怪談』 B837-95.B (横浜：地下書庫)

『怪談・奇談』 B081-930-22 (横浜：3 F 開架)

081-9-930 (平塚：第1 閲覧図書)

"Strange tales from Kwaidan" 837.7-12-3.5 (平塚：第1 閲覧特設)

地獄草紙、餓鬼草紙、病草紙 (平安末期)

12世紀末、後白河法皇の時代に制作されたと言われる絵巻『地獄草紙』『餓鬼草紙』『病草紙』とともに、生前の行いによって六つの世界の生死を繰り返すという六道輪廻の世界を描いた「六道絵」の貴重な絵画とされている。当時の平安貴族の地獄観を映し出していると言われ、現世で犯した罪によって「雨炎火石」「屎糞所」「膿血所」など、それぞれ堕ちる地獄が異なっている。陰惨を極める図像には当時の平安貴族だけでなく現代人も震え上がるだろう。

請求記号：B721-7-34

(横浜：1 階開架)

B721-6-3

(横浜：地下書庫大型)



明治期怪異妖怪記事資料集成 / 湯本 豪一編 (2009年)

明治時代、実際に新聞に掲載された約4,500の怪事件記事が収録された本。新聞は当時の情報発信の中心的役割であり、絵入り新聞の創刊なども関連して怪異記事は読者をひきつける魅力的な記事として明治8年頃から一気に増加した。近代化が進む中で次第に怪異記事は減少し、怪奇現象とされるものも時代によって変化している。巻末の「掲載記事内容一覧」を読むだけでも興味深い。

請求記号：横浜 B388-652 (横浜：2 F 参考図書)



明治6年 酒のつまみをくすね、そのお礼を持ってくる狸

(7月9日 東京日日新聞)

明治12年 子供のように可愛がっている人形が夜中に泣く

(3月24日 長野新聞)

明治35年 恨んだ養父の幽霊が養子の足に噛み付き、出血

(4月20日 神戸又新日報)



日本怪奇幻想紀行 一之巻～六之巻 / 内藤正敏、他執筆 (2000年)

妖怪や怨霊の伝説が残る土地から怪建築まで、さまざまな怪奇スポットを訪ね歩いたレポート集。それぞれの地域の歴史も詳しく書かれており、怖いだけでなく勉強になるシリーズ。一之巻の巻頭、内藤正敏氏による木彫りの鬼面の写真は迫力がある。

請求記号：B388-1~6-410 (横浜：地下書庫)

西洋中世の罪と罰：亡霊の社会史 / 阿部 謹也 (1989年)

11世紀頃までのアイスランド・サガには生きている人間に危害を加える死者の話が出てくる。当時、死者はゾンビのように暴れ周り、暴力的で生者の手に負えない凶暴な存在であった。それが現世の人間に助けを求める哀れな姿へと変貌していく背景には、キリスト教の浸透や西洋における罪の意識の成立が深く関わっている。死者のイメージを通して西洋的精神構造が解説されている。

請求記号：B081-2103-22 (横浜：3 F 開架)
081-9-2103 (平塚：第1 閲覧図書)



悪魔の美術と物語 / 利倉 隆 (1999年)

日本人にはあまりピンと来ない「悪魔」は、西洋人にとっては恐怖の対象であるようだ。キリスト教の世界観では、悪魔は神に対する敵対者であり、人間を誘惑して罪を犯させ、病気や災いをもたらす存在である。その図像は古代から出現し、爆発的に広がったのは11世紀から12世紀だといわれる。

絵画作品に表れた様々な悪魔の図像を解説する。

請求記号：B702-166 (横浜：1 F 開架)



恐怖心の歴史 / ジャン・ドリュモール (1978年)

本書によると(狭義において)恐怖心とは「我々の自己保存を脅かしていると我々が信ずるところの、現にある切迫した危険を意識することによって引き起こされる、ある衝動=情動」と定義される。だが、数世紀前まで人々に恐怖を与えていた地獄の存在が今では多くの人に恐怖心を引き起こす対象ではなくなっているように、時代や地域によってそれは変化していく。14世紀から18世紀の西洋における恐怖を民衆の心性を通して論じている。

請求記号：B230.5-50 (横浜：地下書庫)

エクソシスト [映画] / ウィリアム・フリードキン監督 (1973年)

怖い映画の名作といえども「エクソシスト」「シャイニング」あたりがあげられる。「エクソシスト」は日本ではあまりなじみの無かったキリスト教信仰における悪魔憑きの物語だが、公開当時ショッキングな映像が話題になり全世界でヒットした。一回転する首や「階段さかさ歩き」などは今でも恐怖を感じる。観たことのない方はどうぞ。

請求記号：F778-402 (横浜：視聴覚資料室)

2013年 横浜図書館展示 「蔵書票の魅力」

蔵書票（エクスリプリス）は図書の見返し部分に貼られる所有者を明示するための小さな紙片であり、個人の蔵書の場合もあれば図書館等の何らかの機関の蔵書の場合もある。ヨーロッパではラテン語起源のエクスリプリス“EXLIBRIS”という名称が一般的に用いられるが、英語圏では“Bookplate”とも呼ばれる。EXLIBRISは15世紀のヨーロッパで始まる。現存する最古のものは1400年代半ばに作成された、通称「ハリネズミ」のEXLIBRISであり、次いで1480年頃に作成された「楯を支えている天使」の図柄などがある。当初は木版摺りの素朴なものであったが、エッチングの発展とともに、繊細で鋭さがあり装飾性豊かなものとなる。16世紀にはアルブレヒト・デューラーやハンス・ホルバインなどの巨匠がたずさわようになる。

本を開いて最初に目に付く見返し部分に貼られるため、所有を明示するだけの目的であれば、文字だけで事足りるはずの紙片に、美的要素が強く求められるようになる。なお、一般的な蔵書票の構成要素は、“EXLIBRIS”という文字、個人名または団体名称、紋章や肖像画、票主の趣味や職業をイメージさせるもの、金言やモットーが書き入れた図案などからなる。今回展示した蔵書票も、所有者（票主）の好みにより、多種多様な図案が用いられている。中でも最もポピュラーな図案は、楯の文様である。中世ヨーロッパにおいては、楯は騎士が携帯し個人を特定するための目印であったからである。英語で紋章のことをCoat of armsと表現するのは、紋章が楯という武器（arms）であったことに由来すると言われる。当初、紋章の使用は貴族階級に限定されていたが、やがて広くEXLIBRISに用いられるようになり、楯の形態や文様などのデザインもバラエティーに富んだものとなった。本学で所蔵している蔵書票も楯型のバリエーションが数多くデザインも豊かである。

(展示期間：2013.04～07)



票主：Leeds
格言：PAX IN BELLO 英訳：peace in war
和訳：平和は戦争のうちに〔存す〕。：休戦。



票主：John Pritt Harley
格言：VIRTUTE ET FIDE
英訳：By virtue and faith
和訳：徳行と信仰とをもって。



票主：William Harrison



票主：Vassar Colleg. Library
(この蔵書票は、フランセスA.ウッド〔Frances A. Wood, 1882-1910.〕を記念して設立された基金から購入された本に使われた。)



票主：Library of Princeton University
(紋章の下のリボンには、大学のモットー「Dei Sub Numine Vigest」英語訳：Under God's power she flourishes. と記されている。)



票主：Max Stern



票主：Henry B.H. Beaufoy

展示の様子は [こちら](http://www.kanagawa-u.ac.jp/library/organize/exhibition/2013/06/005550/)

参考文献：樋田直人 著. 蔵書票の美. 小学館, 1986.3. 230p; ISBN 4-09-387019-5

樋田直人 著. 蔵書票の魅力. 丸善, 1992.2. 225p; ISBN 4-621-05040-0

2013年度 図書館ガイダンス報告

新入生にとって、大学の図書館はそれまでの高校の図書室とは規模や蔵書数が異なり、利用の方法や資料の探し方などで戸惑うことも多いでしょう。図書館では毎年4月から5月にかけて横浜、平塚両図書館で新入生対象のガイダンスを行っています。横浜ではFYSの授業以外にも昼休みや夕方の時間を利用した自由参加のガイダンスを行い、平塚図書館では経営、理学部の全新入生を対象に授業時間内での図書館ツアーとOPACガイダンスを行いました。

■ 横浜図書館

横浜図書館では4月5日から13日にかけて「図書館ツアー」と称し、20分くらいかけて図書館の中を歩き、各閲覧室などの説明を行いました。また、4月15日から20日にかけては図書館資料の検索システム「OPACの使い方」の説明を行いました。参加した皆さんが驚いていたのは書庫の見学でした。高校では見た事のない本の量や23号館の要塞のような書庫にはびっくりした人が多いようでした。

図書館ツアー

学 部	参加人数	学科内訳	学年	人数
法 学 部	7人	法律	1年	5人
		自治	1年	2人
経 済 学 部	7人	経済	1年	6人
		現代ビジネス	1年	1人
外国語学部	15人	英語英文	1年	12人
		スペイン語	1年	2人
		国際交流	1年	1人
人間科学部	7人	人間科学	1年	7人
工 学 部	14人	機械工	1年	1人
		電気電子	1年	3人
		物質生命	1年	4人
		情報システム	1年	2人
		建築	1年	4人
大 学 院	2人	外国語学	M1	1人
		経済学	M1	1人

※表の参加人数はアンケート回答者のみの数。
 実際の参加者数は「図書館ツアー」123名、
 「OPACガイダンス」75名である。

OPACガイダンス

学 部	参加人数	学科内訳	学年	人数
法 学 部	14人	法律	1年	11人
		自治	1年	2人
			3年	1人
経 済 学 部	16人	経済	1年	13人
			2年	1人
		現代ビジネス	1年	1人
			4年	1人
外国語学部	7人	英語英文	1年	5人
		中国語	1年	1人
		国際文化	1年	1人
人間科学部	5人	人間科学	1年	5人
工 学 部	13人	電気電子	1年	5人
		物質生命	1年	1人
		情報システム	1年	4人
		建築	1年	1人
		経営工学	1年	2人
大 学 院	4人	人間科学	M1	1人
		外国語学	M1	1人
		経済学	M1	1人
		法務	M1	1人
社 会 人	4人			4人

■ 平塚図書館

平塚図書館では4月16日から5月22日にかけて、授業時間内での図書館ガイダンスを行いました。アンケート結果によるとガイダンスの説明によって、それまで知らなかった図書館の設備や資料の種類などがわかった、という声が多くありました。また、図書館には来たことがあるけれど、図書館ホームページやOPACはまだ利用したことがない、という回答の多さは横浜、平塚両図書館にとって今後の課題となるでしょう。

図書館ツアー、OPACガイダンス

学 部	参加人数	実施日	学 科	人 数
経 営 学 部	520人	4月16日	-	133人
		4月17日	-	211人
		4月19日	-	132人
		4月24日	-	44人
理 学 部	413人	5月1日	情報	87人
		5月8日	化	101人
		5月15日	生物	103人
		5月22日	総合理学	65人
		5月22日	数・物	57人



横浜図書館、平塚図書館ともに視聴覚資料室は利用者の皆さんに人気のある場所です。現在利用の多い資料は映画やドラマのDVDですが、本来、視聴覚資料室は学習、研究の補助を目的として設置されています。特に映像資料は楽しみながらわかりやすく学べる資料として適しています。

今回は優れたドキュメンタリーを中心に紹介いたします。ぜひ勉強や研究に映像資料を役立ててください。

『NHKスペシャル 日本国憲法誕生』

憲法改正論議が活発化する現在、日本国憲法がどのように生まれたのか、まずはここから知ることが大切なのではないでしょうか。映像でわかりやすく学ぶことができます。

請求記号：横浜 F323.14-1



『第二次大戦後の世界のテロと武力紛争 第1巻～第13巻』

このシリーズでは26の組織を取り上げ、それぞれの組織結成の背景やリーダーの人間性などに焦点を当て、世界に与えた影響などを解説する。

請求記号：横浜 F 316-1~13-2



『BBC 世界の建築遺産 第1巻～第8巻』

インドのタジ・マハルからエジプトの修道院まで、ルーマニアの権力者の宮殿から廃墟と化した刑務所まで、世界32ヶ所の建築の貴重な映像が鑑賞できる。



請求記号：横浜 F 520-1~9-2

『奇跡の映像：よみがえる100年前の世界』

20世紀初頭、ユダヤ系フランス人の大富豪アルベール・カーンは世界中にカメラマンを派遣し、世界各地の人々の暮らしや文化を当時珍しいカラー写真やフィルムに記録した。特に日本には何度も訪れた皆さんの記録を残している。

請求記号：横浜 F 290-4
平塚 F 290.9-2-1~10



食糧問題を考える4本

以下の4本のDVDは、世界規模の食糧問題や私たちが毎日食べているものは何なのかをテーマにしたドキュメンタリー。観た後で今までの認識が変わるかもしれません。



- 『ありあまるごちそう』 (請求記号：横浜 F611-1)
- 『フード・インク』 (請求記号：横浜 F611-2)
- 『あぶない野菜』 (請求記号：横浜 F611-3)
- 『お米が食べられなくなる日』 (請求記号：横浜 F611-4)

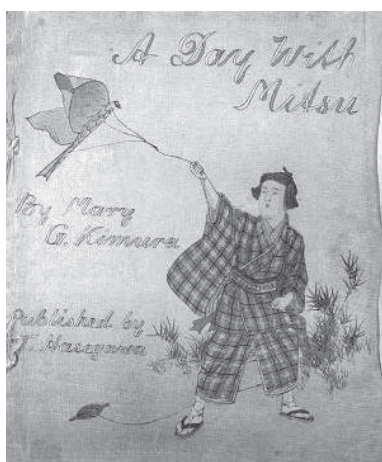
日本の美—ちりめん本コレクション

神奈川大学図書館では、明治期に国内や海外で出版された日本に関する書籍を「日本研究」として収集しています。その中でも特に美しく、目を楽しませてくれるものに「ちりめん本」があります。

ちりめん本とは…

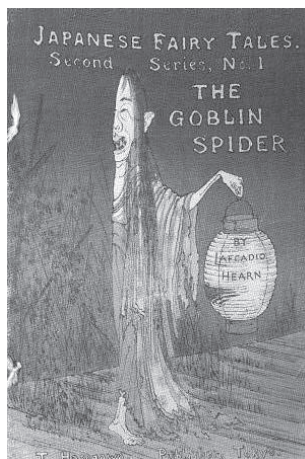
木版、多色刷りの挿絵と欧文を活版印刷した和紙に特殊な加工で細かいしわを作り、布の縮緬のような手触りを持たせ、和綴じにした絵本。題材は日本の昔話が多い。出版業、印刷業などを営んでいた長谷川武次郎によって明治18年（1885）刊行が開始された。

日本の着物を連想させるちりめん本の手触りと風合いは、英語ではクレープ・ペーパー・ブックと呼ばれ、日本を訪れた外国人のお土産として当時大変人気がありました。挿絵は江戸時代からの伝統的な画法によって描かれ、ちりめん本の芸術的価値をより高めています。



A day with Mitsui
(みつの一日)

The Goblin Spider
(化け蜘蛛)



Dichtergrüsse aus dem Osten
(東の国から詩の挨拶)

■A day with Mitsui (みつの一日) /メアリー・G・キムラ著 新井芳宗挿絵 1894年

みつという名の三男坊の一日をとおして日本の生活、文化が紹介される。この作品は日本文化を理解しようとしないう西洋目線で見られていると批判されることもあるが、天心爛漫なみつがかわいらしい。

A933-3582 (横浜 準貴重書庫)

■The Goblin Spider (化け蜘蛛) /ラフカディオ・ハーン著 挿絵絵師：不明 1899年

侍が廃寺に出る大蜘蛛の化け物を退治する話。日本には夜中になると巨大化し、妖術を使って人の姿に化ける蜘蛛がいるという話から始まる。この本の魅力は、なんとと言っても表紙の左半身しかないユニークな化け物の姿である。

A913-270 (横浜 準貴重書庫)

■Dichtergrüsse aus dem Osten (東の国から詩の挨拶)

/カール・フローレンツ訳 新井芳宗、三島蕉窓、他挿絵 1896年？

日本の詩歌に深い造詣を持つカール・フローレンツが『万葉集』『古今和歌集』などの歌をドイツ語訳し、まとめたもの。特に絵師による挿絵がすばらしい。

A911-3.H (横浜 準貴重書庫)

カラーでお見せできないのが残念ですが、以下のサイトでは美しいちりめん本を観ることができます。

<http://yushodo.co.jp/pinus/63/chirimen/> (雄松堂広報誌 Net Pinus 放送大学図書館所蔵「ちりめん本コレクション」)

図書館からのお知らせ

横浜・平塚共通

◎夏季長期貸出について

貸出期間：7月15日(月)～9月13日(金)

返却期限：9月30日(月)

対象：学部生・科目等履修生

冊数：10冊

◎一般公開休止について

前期試験実施に伴い、下記期間中の一般公開を休止いたします。

期間：7月1日(月)～7月30日(火)

◎一斉休暇に伴う休館について

期間：8月13日(火)～8月16日(金)

横 浜

◎夏季休業期間中[8月7日(水)～9月20日(金)]の

開館スケジュールについて

開館時間：9:30～18:00

- 視聴覚資料室は閉室します。
- 3Fおよび2F第二閲覧室は閉室します。

※日・祝日および一斉休暇期間は休館です。

平 塚

◎休日開館について

前期試験実施に伴い、下記日程を開館といたします。

日程：7月7、14、21、28の各日曜日

開館時間：9:10～16:50

◎夏季休業期間中[8月7日(水)～9月20日(金)]の

開館スケジュールについて

開館時間：9:10～16:50

- 第2閲覧室は閉室します。

※土・日・祝日および一斉休暇期間は休館です。

編集後記

怖い話をひとつ。ある病院での話である。その大病院には大手コンビニエンスストアが入っていた。夜8時までの面会時間を過ぎると、その24時間営業のコンビニに買いに来る者は病院関係者か入院患者のみである。パジャマやスウェット姿の入院患者と白衣や制服姿の病院スタッフとは一目で区別がつく。

ある夜遅く、一人の入院患者がお茶を買いにレジに向かった。他に客はいない。と、後ろから声がする。

「おにぎり100円でーす。おためしくださいーい」パジャマ姿のその人はぞっとした。声の主が幽霊だったからではない。声の主がコンビニの店員だったからである。

入院患者の多くは食事制限を課せられ、好きなものを自由に食べられない人が多い。そんな日常と切り離された人達が病と闘っている場所で「おにぎり食べませんか？」とは、ここは何たる悪意に満ちたコンビニだ、いや、ブラック・ジョークか？と、その患者は思った。そうではなかった。その店員は一生懸命に仕事をしていただけだった。だが、そこには「場」と「人」に対する悲しいほどの想像力の欠如があった。

経営者は従順にシステムに適応する社員を求める。莫大な利益を上げるために繰り返されるマニュアル通りの仕事は、そこに組み込まれる人間の想像力を奪っていく。その一方で経営者は「豊かな発想」や「コミュニケーション能力」を持った社員を求める。大きな矛盾をはらむ理想の社員像。直感を封じ、矛盾から目を逸らし、ある者は考えることをやめ、ある者は立ちすくむ。この矛盾に満ちた世界で自らの想像力を守るためには「情報」ではない「知」に親しむことが唯一の対抗手段かもしれない。

(N.E.)

今号の表紙

〈ちりめん本〉The Goblin Spider (化け蜘蛛) by Lafcadio Hearn, 1899

長谷川武次郎が企画発行したちりめん本「日本昔噺」シリーズの一冊。このシリーズの翻訳者には宣教師として来日しヘボン式ローマ字を考案したヘボン(James Curtis Hepburn)、東京帝国大学のイギリス人教員チェンバレン(Basil Hall Chamberlain)などもおり、明治期の日本に大きな足跡を残した外国人達が関わっている。